

2 年齢別カリキュラム・子どもとSDGs

「年齢別カリキュラム」

年齢別カリキュラムとは、「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」及び「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」で示された「育みたい資質・能力」(3つの柱)及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10の姿)を踏まえた上で、0歳児から5歳児までの各年齢における「子どもの姿・発達過程」「養護・教育のねらい」「内容」「環境構成」「援助」などを育ちの目安として示したものです。小学校教育との接続を意識し、発達や学びの連続性を考慮し、一人ひとりの子どもの発達過程や環境、入園の時期など、各園の状況に合わせて活用してください。

「子どもとSDGs」

SDGs(持続可能な開発目標)とは、平成27年(2015年)9月の国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された国際目標であり、17のゴールと169のターゲットで構成されています。「地球上の誰一人として取り残さない」という理念のもと、子どもを含めたすべての人々がそれぞれの立場から「世界の貧困をなくす」「持続可能な世界を実現すること」をめざすものです。人類、地球及びそれらの繁栄のために設定された壮大な行動計画であるため、就学前の保育・教育活動は、直接的にはどの目標にもあてはまらないように感じるかもしれませんが、保育者が、生涯にわたる人格形成の基礎を培う大切な時期に関わり、子どもたちが主体的な経験を重ねることは、身の回りのことを自分のこととして行動を起こし、持続可能な社会の創り手としての基礎を培うことにつながっていきます。

本カリキュラムでは、年齢別に、保育の実践の中にあるSDGsを紹介します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

